東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

1液水性反応硬化形外壁用シリコン系クリヤー塗料

トーケミシリコンクリヤー [水性タイプ]

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（2回塗り）
トーケミシリコンクリヤー [水性タイプ]	透明	艶有り 3分艶	15kg缶	—	—	約62～75㎡/15kg

適用基材

外壁	意匠サイディング（新築～10年程度で、劣化・チョーキングが軽度のもの）

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
事前診断	新築～10年程度で、劣化・チョーキングが軽度の基材に施工する。劣化の程度により付着不良・白化・むらが生じるため、チョーキング面など施工に適さない下地には施工しない。判断がつかない場合は試験施工を行い、吸込み・付着性を確認する。						
下地調整	ごみ・ほこり・油脂類・異物などの付着物を入念に除去し、高圧洗浄後は十分に乾燥させる。劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いて除去する。						
上塗り	トーケミシリコンクリヤー [水性タイプ]	2	0.10～0.12	4時間以上	水道水	0～4	はけ・エアレス ウールローラー

注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】

1. ハイパイルローラーは、気泡が消えずに白濁する場合があるため使用しないでください。
2. 溝の深いサイディングや粗面で塗料がたまると、白濁して硬化します。塗料だまりができないよう均一に塗装してください。
3. チョーキングが目立つ下地には塗装しないでください。仕上がりのむらや、塗装後のはく離の原因となります。
4. 素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工しないでください。

【施工環境・気象条件】

5. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
6. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
7. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
8. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】

9. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
10. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。
11. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。防藻・防かび性は繁殖を抑制するものです。
12. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。

【調合・希釈・かくはん】

13. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は光沢低下・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一としてください。
14. 使用前に十分にかくはんしてください。艶調整品は艶消し剤が沈降しやすいため特に入念に。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【塗装作業】

15. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると性能が十分に発揮されないおそれがあります。
16. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
17. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
18. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【仕上がり・補修】

19. 被塗物の形状・膜厚・塗装方法などにより、艶や仕上がりが見本と若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを行ってください。
20. 艶調整品は塗り継ぎで艶むらが生じやすいため、面を切って通し塗りしてください。
21. 補修用に使用塗料のロットを控えておき、同一ロット・同一希釈率・同一塗装方法で補修してください。はけ塗りとローラー塗りが混在すると、仕上がり肌や色相に若干の差が生じます。

【適用部位・部材】

22. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
23. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。
24. ドア・手すりなど人が頻繁に触れる部位、床・家具・遊具への塗装は避けてください。

【保管・取扱い・廃棄】

25. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
26. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
27. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
28. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。